目黒本町薬局かわら版

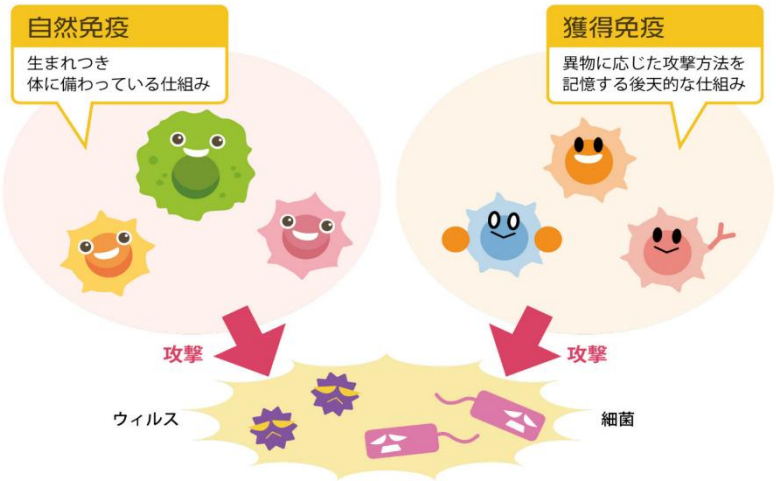
～予防接種について～

私たちは子供の頃から予防接種を受けていますが、その種類や必要性は漠然としていませんか？今回は予防接種を受ける意義や日本で受けられる予防接種の種類などをご紹介します。

予防接種とは？

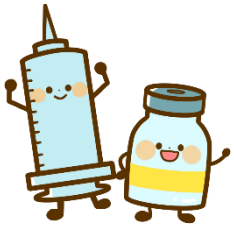
病気に対する免疫力を高めたり、免疫力を強くするために、ワクチンを打つことをいいます。ワクチンを打つことにより自分自身が感染することを予防するとともに、自分の身近な人に病気をうつすのを防ぎます。
また、病気にかかっても、 症状が軽くすむために打ちます。

免疫(力)とは？



体内に侵入してきたウイルスや細菌（病原体）などの外敵から体を守るためのしくみを、「免疫」といいます。免疫には**自然免疫**と**獲得免疫**があります。
自然免疫とは、私たちの体にもともと備わっている防御システムです。いち早くウイルスを攻撃するとともにウイルスの特徴を獲得免疫に伝達します。
獲得免疫は、ウイルスの情報を自然免疫から受け取り、ウイルスなどに対抗するための武器（抗体）を作って攻撃します。

ワクチンとは？



獲得免疫のところで出てきたウイルスなどに対抗するための武器（抗体）を、 病原体（ウイルスや細菌）が体に侵入する前にあらかじめ作っておく医薬品をワクチンと言います。

ワクチンは、病原体を構成する物質などから作られているので、ワクチンを打つと体は病原体が入ってきたと判断し、その病原体に対する武器（抗体）が作られます。この武器を作ることで、感染や病気の重症化を防ぐことが出来ます。

また、ワクチンに含まれる病原体を構成する物質は、体に害のない状態にしているため、ワクチンを打つことで感染症を引き起こすことはありません。

予防接種の種類

定期接種 法律で接種することが推奨されている	「予防接種法」に基づき自治体が実施主体となって行う接種（費用は原則自治体または国が全額負担、一部自己負担あり）
任意接種 感染症の緊急のまん延予防	希望者が任意で行う接種（自己負担）

ワクチンで予防できる病気

定期接種は接種目的により「A 類疾病」と「B 類疾病」に分類されています。

「A 類疾病」	主に集団での予防で、接種の努力義務がある
ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ・Hib 感染症、B 型肝炎、小児の肺炎球菌感染症、結核（BCG）、麻しん（はしか）・風しん、水痘（みずぼうそう）、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症、ロタウイルス	
「B 類疾病」	主に個人の予防となる
インフルエンザウイルス感染症、高齢者の肺炎球菌感染症・新型コロナウイルス感染症・帯状疱疹	

任意接種は小児に対するインフルエンザウイルス感染症ワクチン、おたふく三種混合、RS ウイルスワクチンなど